

大阪 PCB 廃棄物処理事業だより (No.53)

◎PCB 廃棄物の処理状況について

操業開始（平成18年10月）から平成30年3月31日までの処理実績は下表のとおりです。

処理状況 対象物	処理実績（※登録台数比率）	
	近畿2府4県【総数】	大阪市【内数】
トランス類	2,560台（92%）	1,185台（94%）
コンデンサ類	73,329台（93%）	13,344台（94%）
PCB油類	1,413本（81%）	530本（89%）

※登録台数は平成30年3月31日現在の数値。

◎大阪 PCB 廃棄物処理事業監視部会の開催について

2月28日、此花会館において大阪 PCB 廃棄物処理事業監視部会（主催：近畿ブロック産業廃棄物処理対策推進協議会〈構成：近畿2府4県14政令市〉）が開催されました。

当社からは、「大阪 PCB 廃棄物処理事業の操業状況」や「設備の長期保全（老朽化対策）の取組み状況」、「長期処理計画の内容（今後の処理の見通し）」、「高所や地下部に設置されているために搬出が困難な大型トランスの現場で行う抜油・解体の状況」等についてご説明を行いました。

大阪市からは、平成29年7月及び12月に同市が実施した大気環境のモニタリング調査結果に関し、PCB（基準値等：0.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）、ダイオキシン類（基準値：0.6pg-TEQ/ m^3 ）、ベンゼン（基準値：0.003mg/ m^3 ）及びその他の物質は問題なかったとのご報告がありました。

また、環境省からは、PCB 廃棄物の早期処理に係る国の取組みについてご報告がありました。



監視部会の状況

◎周辺環境モニタリング調査及び排出源モニタリング調査の結果について

当事業所では、毎年4回（春、夏、秋、冬）事業所敷地内と周辺（南側）の2箇所環境モニタリング調査（大気中の PCB、ダイオキシン類の濃度測定）を行っています。平成29年度の測定結果はいずれも環境基準値等を下回っていました。

また、平成29年6月に実施した排出源モニタリング調査（施設からの排気、排水中の PCB、ダイオキシン類等の濃度測定）においても、全ての測定点における結果が自主管理目標値を下回っていました。

項目(単位)	PCB ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		ダイオキシン類 (pg-TEQ/ m^3)	
	敷地内	周辺	敷地内	周辺
環境基準値等	0.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$		0.6 pg-TEQ/ m^3	
場所	敷地内	周辺	敷地内	周辺
春	0.00043	0.00030	0.010	0.010
夏	0.00040	0.00037	0.011	0.013
秋	0.00042	0.00028	0.012	0.012
冬	0.00028	0.00024	0.020	0.020



周辺（南側）での測定の状況

◎高濃度 PCB 廃棄物の「総ざらい」活動の状況

当事業所では、平成18年10月の操業開始以降、高濃度のPCB廃棄物を保管されている事業者との契約、搬入・処理を着実に進めています。

府県市では、各管内における未処理のPCB使用製品やPCB廃棄物を網羅的に把握するための掘り起し作業が行われ、これによりJESCOへの登録台数は着実に増加しています。

一方、これと連携して、当事業所では近畿2府4県にある全ての高濃度PCB廃棄物の期限内での処理完了に向けて、保管者に対する処理促進のための取組みである「総ざらい」活動（未契約保管者を対象とした説明会開催や事業所訪問等）を行っています。

平成27年度の和歌山県、平成28年度の滋賀県、奈良県に続き、平成29年度は、京都府、大阪府及び兵庫県で総ざらい活動を進め、関係府県市にもご出席いただき、京都府は6月～7月、大阪府は7月～10月に説明会を開催、兵庫県では平成30年1月から開始しました。

この取組みにより、平成29年度内に、京都府では対象の保管者146者の内81者（55%）、大阪府でも対象の保管者466者の内265者（57%）が処理完了となっています。

「総ざらい」活動を通じて明らかになった「当事業所への処理委託を渋っている保管者」や「対象機器の所在等が不明の保管者」について、府県市のご指導・ご協力をいただきながら効果的に処理が促進されるよう総ざらい活動を加速しております。

また、今回の「総ざらい」説明会を完了した和歌山県・滋賀県・奈良県・京都府・大阪府については、地域専任担当者を配置し府県市と日常的な連携を図りながら、保管者毎に登録及び契約締結の個別交渉を進めており、兵庫県についても、今後同様の地域専任体制に移行し処理を促進してまいります。

◎施設見学の状況について

当施設への見学者は、操業開始以降、平成30年3月31日現在で10,968名（1,417団体）となっています。平成30年1月から3月の見学者数は、次に示す皆様をはじめ計66名（8団体）でした。

- | | | |
|-------|-----------------------------|-------|
| 1月12日 | 大学の環境・エネルギー工学研究室の皆様 | （17名） |
| 2月6日 | JICA（独立行政法人国際協力機構）の海外研修員の皆様 | （12名） |
| 2月8日 | 産業廃棄物の3R推進に取組む行政と民間の協議会の皆様 | （13名） |



舞子（まいこ）



☆大阪PCB廃棄物処理施設見学方法☆

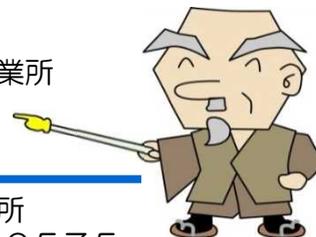
当社のホームページをご参照下さい。また、予約見学時は総務課へご連絡下さい。

- ・自由見学：西棟1階情報公開ルーム（月～金曜日の午前10時から午後4時まで）
- ・予約見学：西棟1階情報公開ルーム、見学者ホールなど
毎週火、木曜日（午前10時から・午後2時から）

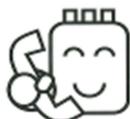
【問い合わせ】 中間貯蔵・環境安全事業（株）大阪PCB処理事業所
TEL：06-6468-0575
ホームページ：http://www.jesconet.co.jp



洲男（しまお）



べん蔵（べんぞう）



【発行】 中間貯蔵・環境安全事業（株）大阪PCB処理事業所
総務課／安全対策課／運転管理課 06-6468-0575
営業課（弁天事務所） 06-6575-5575